



つながる! ひろがる!
北海道新幹線

北海道新幹線 関連鋼材工場建設始まる! 起工式を挙行!

これから北海道新幹線札幌延伸が、トンネル工事などを皮切りに、いよいよ本格的な建設工事が始まりますが、鉄筋工事などを手掛ける道内2社と道外1社の計3社が業務提携し、字富野の旧苗畑付近の町有地に鋼材加工工場の建設を始めました。今後、建設工事が本格化するのを見据え、新函館（仮称）と札幌の間に位置する長万部町に拠点を構え、トンネル構造を支える「支保工」や高架橋などの基礎杭に使用される鉄筋カゴなどを函館方面と札幌方面の両方に効率的に供給できるようにして建設されることとなったものです。

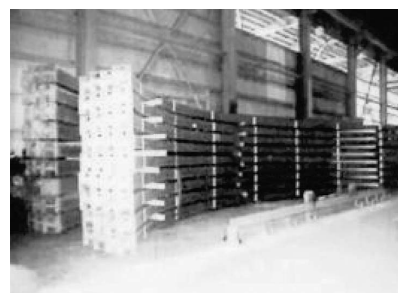
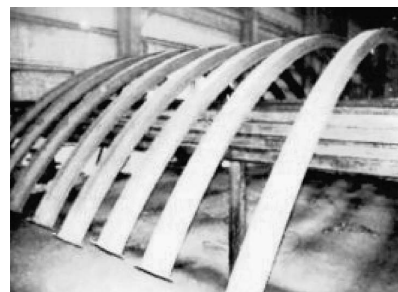
提携するのは、鉄筋工事の「株式会社アールシーサンコー」（本社：苫小牧市）、鋼材・建材卸の「株式会社鉄建」（本社：帯広市）、トンネル支保工などを扱う「株式会社マシノ」（本社：広島市）の3社で、鉄建が工場を建設しアール社に工場を貸し、アール社はマシノの技術指導を受けながらトンネルの「支保工」や高架橋基礎杭の「鉄筋カゴ」などを製造します。

本工場は、8月の中旬の完成を目指し、同月中にも操業を開始する見込みとなっており、最盛期には40名以上の雇用を確保したいとのことです。

起工式は、4月2日に現地にて挙行され、祝賀会では多くの工事関係者や近隣の北海道新幹線沿線自治体の倶知安町・二セコ町・蘭越町・黒松内町・八雲町などからも各首長が列席される中、沿線自治体を代表して白井町長が祝辞を述べ、本工場の進出を大いに歓迎しました。



【アールシーサンコー社が製作する高架橋などの杭などに使用される鉄筋カゴ】

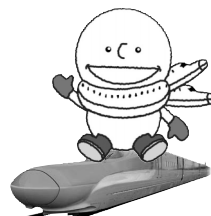


【マシノ社の技術により鉄骨をアーチ状に加工され、トンネルを支える支保工：上2枚共】

- 【上図：鋼材加工工場完成予想図】
- ◆ 工期：平成26年8月12日
 - ◆ 構造：工場棟 鉄骨造平家建
事務所棟 軽量鉄骨造2階建
 - ◆ 敷地面積：20,348.86㎡
 - ◆ 延床面積：工場棟 4,800.00㎡
事務所棟 251.86㎡
合 計 5,051.86㎡



ここに大きな工場ができるんだよ♪



富野の工場建設予定地で行われた起工式の様子。北海道新幹線沿線の近隣自治体の首長様も多数出席されました。

起工式終了後、祝賀会の席上で近隣の沿線自治体首長を代表し、祝辞を述べる白井町長

■ 新幹線に関するお問い合わせやアイデア・ご意見はこちらへ《まちづくり新幹線課》

◆ メールアドレス：m.s-k@town.oshamambe.lg.jp ☎ 2-2450 FAX 2-4884

町HPでの北海道新幹線の情報はこちらでご覧いただけます。http://www.town.oshamambe.lg.jp/modules/politics/category0005.html